

## 海外安全対策情報（平成30年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2018年1月1日から3月31日（2018年7月31日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は19,561件で、前年同期と比較し8.1%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗6,091件（前年比16.4%減）

（うち住宅対象侵入窃盗）2,107件（同11.2%減）

イ 公然窃盗359件（同2.3%増）

ウ 恐喝21件（同36.4%減）

エ 詐欺1,142件（同0.7%増）

オ 暴力犯罪821件（同7.1%減）

カ 殺人及び殺人未遂78件（同8.2%減）

キ 重傷傷害161件（同12.0%減）

ク 強盗47件（同20.5%増）

ケ 強姦及び強姦未遂32件（同30.4%減）

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2018年4月～6月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 4月5日、ゴメリ州レチツァ地区で、タクシー運転手に対する殺人未遂の罪で17歳の少年が逮捕された。

事件当時少年は酒に酔っており、親戚の墓の掃除に行くため墓地まで行くようにと被害者に伝えていたという。

目的地付近で少年は突然、被害者に金槌で襲いかかり、怪我を負わせた。

イ 5月4日夜、ヴィテプスク市で酒に酔った男が路面電車内で突然、乗客であった16歳の少年の髪を掴み、ナイフで少年の左腕を切りつけ、怪我を負わせた。

事件は捜査中であり、容疑者には出頭命令が出されている。

ウ 6月16日、国境検問所「カーメンヌィ・ローク」で不法出国を試みたスリランカ人3名が国境警備隊に拘束された。

拘束されたスリランカ人達は、ロシアで登記されたトレーラーに乗っており、必要な書類を所持せず、このような手口で欧州の国々へ違法に出国しようとしていた。

スリランカ人3名については、国境を意図的に違法に越えようとしたとの行政法違反に基づき、手続きが開始されている。

また、トレーラー運転手であったロシア人と南アジア人達も逮捕され審理のため未決拘置所に収容されている。

エ 6月21日、モギリョフ州クリチェフ市で男が元妻を射殺し、その後男は自殺するという事件が発生した。

モギリョフ州捜査委員局によると、男は元妻との言い争いの際、同人に向かって発砲し、その後銃で自殺を図った。元夫妻は遺体で発見された。

### 3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

### 4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

### 5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。